

## 今後のPIの進め方(案)

国土交通省  
東京都

### 1. 基本的な考え方

国土交通省及び東京都は、これまでに各区市及び地域住民から示された地域分断や環境問題などの課題に関して、どのような対策が可能かを具体的に検討していく。

対策の検討にあたっては、今後のPIにおける地域住民の考え方を取り入れ、沿線区市と緊密に連携して進めていく。

### 2. 今後のPIの進め方

#### (1) 全体PI

対策の検討に必要な沿線全体に関する課題やこれまでの議論のフォローアップについて議論する。

また、交通量推計・整備効果など疑問が残っている課題の勉強会の設置などを行う。

#### (2) 地域ごと・課題ごとのPI

地域ごと・課題ごとの対策の検討にあたり、地域住民の懸念や具体的な対策について話し合う。

そのため、地域ごとに検討すべき課題の設定、課題に応じた検討時期、対象地域、PIの手法を定める。

地域ごと・課題ごとのPIについて、当面は、区市ごとに国、都、当該区市および当該区市PI委員などで、地域の区切り方、検討すべき課題、課題ごとの検討時期、PI手法などについて話し合う。

#### (3) 情報提供・意見聴取

外環ジャーナル、オープンハウス等による情報提供・意見聴取を行う。

今後のPIについては、PI外環沿線会議の議論に加えて、地元住民、有識者、道路利用者など地域及び広域の意見を広く聴きつつ、区市と調整しながら進めていく。

## 今後のP Iに関する主な意見

### 全体P Iについて

(全体P Iのあり方に関わる意見)

- ・P I会議で結論を出せるものについては出していくべき。
- ・仮に外環ができる場合、事業中や事業後もP Iは継続し、約束事などが守られているかのチェックをする場を設けるべき。
- ・情報発信をもっとしっかりやって欲しい。
- ・外環ジャーナル等の情報提供の仕方をもっと慎重に考えて欲しい。

(議題に関わる意見)

- ・外環により地域のまちづくりに影響が出るため、今は都市計画変更案への意見を出し、その後、変更案で残る課題を整理し、その課題に対してどのようにP Iを進めていくかを整理すべき。
- ・地域では外環の必要性にまだ納得ができておらず、引き続き必要性の議論をするべき。
- ・財政面など全体に関わるやり残したことは、P I会議の枠組みの中で関心のある人を集めて行うべき。
- ・外環ノ2については、別途議論する場を設けることを提案する。
- ・外環ノ2について、今P I会議で議論すること自体に反対である。
- ・外環ノ2についていずれP I会議で議論しなければならない。
- ・インターチェンジの問題、東名以南等についても早急に話し合うべき。
- ・工事着工までにはいろいろな可能性があるはずであり、やり残した問題や住民が不安に思っている問題は引き続き話し合う必要がある。

### 地域P Iについて

(地域P Iのあり方に関わる意見)

- ・意見を聴く会では意見交換をただけに終わっているようであり、今後の地域P Iではできるだけ具体的な議論ができる場にするよう工夫すべきである。
- ・地域P Iであっても理念である透明性、客観性、公正さは守るべきである。
- ・地域P Iにおける各区市の役割や位置づけを住民にもわかるよう明確にしてほしい。
- ・住民から意見を聴くだけでなく、その意見の反映や評価をどうするのか。
- ・外環への関心事項を整理し、関心のあるテーマごとに分科会をやるのがいいのではないか。
- ・自治会との話し合いについても、オープンにするべき。
- ・自治会ごとに意識はことなるので、自治会との話し合いはオープンにするべきではない。
- ・地域住民が多く参加できるように、今後の地域P Iは土日開催にしてほしい。
- ・地域P Iでは、外環整備に伴って周辺で起きる事態を予測し、それを防ぐ手段を議論する。

(議題に関わる意見)

- ・都市計画手続き中に、何を誰と議論し、なぜ今やるのかの理由を市民に明確に示すべき。
- ・三日月地域への影響の解決策について何度も要望を出しており、国や都から具体的な方策を出すべき。
- ・都市計画案に対する区市長の意見をよりどころとして検討進めるべき。

## 区市から寄せられた今後のPIに関する意見

- ・外環計画及びその周辺地域の環境の保全のために、最大限、区と住民の意見を反映させるため、国、東京都、区及び住民の協議の場を設置すること
- ・ワークショップなど、市民の創造的な参画を可能とする手法の導入を図り、関係機関及び市民との協働によるまちづくりを推進すべき
- ・PI会議のしくみの充実など十分な合意形成を図ること
- ・地域別のPI会議を設置し、地域毎の合意形成をはかること

## 区市から寄せられた今後検討すべき主な課題

- ・掘割部の蓋掛け構造による有効活用
- ・三日月地域など地域コミュニティの分断に対する具体的な対策
- ・分断されるバスルート、通学路などの対策
- ・八の釜の湧き水の検討
- ・JCT・IC周辺の交通対策、分断される道路の代替機能、まちづくり
- ・大気、騒音、善福寺池や地下水など水環境など環境面における詳細な調査、対策
- ・環境施設帯・ジャンクション部を活用した遊歩道の整備
- ・環境施設帯の植栽の種類
- ・換気所における併設施設の検討や地上部施設のデザイン
- ・工事中における環境対策や工事車両の通過などに対する安全対策
- ・供用後における適切な車両規制など安全対策
- ・周辺道路の交通量や大気質等の事後調査及び対策
- ・外環ノ2の方向性については、必要性の有無から検討すべき
- ・外環ノ2については、オープンに議論することが必要
- ・東名以南について